

教科目名 プロジェクト実験Ⅱ (Project-based ExperimentⅡ)

専攻名・学年 : 電気電子情報工学専攻 1 年 (教育プログラム 第3学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (後期 2 コマ, 授業時間 39 時間)

担当教員 : 石川 秀大

授業の概要			
実社会の仕事で取り組む課題には模範解答もなければ、答えすら解らないものがほとんどである。実社会で必要不可欠な能力を修得するために、学生が未知の課題に取り組み、自分自身でその解決方法を模索して解決へと導くことを学習する。本実験では SOHO (Small Office Home Office) のネットワークを調べ、業務用のネットワーク機器を使って設計および構築を行う。また、それらの手順を顧客視点のマニュアルとしてまとめて成果を発表する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (D1) (D2), JABEE 目標 (d2) (g) (i)	
(1) コンピュータのネットワーク環境を構築できる。(レポート)			
(2) サーバとクライアントの環境を実装できる。(レポート)			
(3) 発生した未知の問題を自分たちで解決できる。(レポート)			
(4) チームで協調してひとつの課題を解決できる。(レポート)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1-	1. SOHO の調査	○ SOHO N/W に必要な要件を調べる。	【理解の度合い】
	2. ネットワーク・OS の環境構築	○ OS をインストールし、必要な環境を構築する。	
	3. VLAN の設定	○ VLAN を構築し、各スイッチに必要な設定をする。	
	4. サービスの構築	○ SOHO N/W に必要なサービスをサーバに組み込む。	
12	5. マニュアル作成	○ マニュアルをまとめる。	
13	6. 成果発表	○ チームごとに成果を発表する。	
履修上の注意		実験中に実験内容と関係がない作業を行わないこと。その場合は実験を欠席とみなす。	【総合達成度】
教 科 書		なし	
参 考 図 書		竹下 隆史他,「マスタリング TCP/IP 入門編 第5版」, オーム社	
自学上の注意		授業の時間外に各チームで十分に協議して検討する。	
関 連 科 目		プロジェクト実験Ⅰ, プロジェクト実験Ⅲ	
総 合 評 価		達成目標 (1)～(4) についてレポート (100 点満点) で評価する。レポートによる総合評価が 60 点以上を合格とする。なお、再実験は実施しない。 以下に、レポートの満たすべき条件を述べる。 (1) 章立てを考え、目次を付け、各章ごとに目的・手順・検証内容を初心者でも分かるように詳しくまとめること。 (2) チームごとに成果発表 (プレゼンテーション) を実施し、その際には各自の分担とエフォートを明記すること。	【総合評価】 点